

1999年 6月 16日

各 位

株式会社 小糸製作所

小糸製作所 欧州A F Sの正式メンバーとして承認される

当社は、此の度ドイツにて開催されたA F S (Advanced Front Lighting System : 先進フロント・ライティング・システム) プロジェクト理事会において、欧州域外からは初めてA F S プロジェクトの正式メンバーとして、承認されました。

A F S プロジェクトとは、欧州24ヶ国の政府と企業、研究機関が共同で進める21世紀に向けた通信技術、環境技術、輸送技術等の先端技術分野についての国際共同研究構想に基づいて行われる研究プロジェクト (EUREKAプロジェクト : 別紙 参照) の一つであります。

A F S プロジェクトの目的は、夜間の自動車走行の安全性をより高めるために、対向車・先行車の状況、市街地、高速道路等の道路環境、さらには雨・霧等の天候に応じて自動的に前方への光をコントロールする前方照明システムの開発、およびその法規化に有ります。

A F S プロジェクトは、従来、欧州6カ国の自動車および部品メーカー、16企業のメンバーで構成されていましたが、日本からの代表として、小糸製作所が参画することとなりました。

当社は、既に、走行中に車のステアリング角度に応じて光の照射方向を変化させる「ステアリング連動ランプ」や先行車との車間距離を自動的に検知して警報を発する「レーザレーダシステム」を実用化するほか、自動車照明機器に関する新しいシステムを提案してきました。これらの技術を基にA F S プロジェクトへの参画申請に際して、上記A F Sの目的に合致する前方照明システムを組み込んだプロトタイプ車を製作して欧州に持ち込み、今年5月、各国の運輸省関係者、国連の規格化推進メンバーへのプレゼンテーションに参画し、参加メンバーからは、安全性の高い将来の照明システムとして高い評価を受けました。

日本は自動車基準の国際統合化をはかるため、昨年、国連ジュネーブ協定(いわゆる58年協定 : 別紙 参照) を批准しました。当社はこのA F S プロジェクトに参加することにより、運輸省と協力してE C E規則に日本の意見を反映させ、E C E・A F S規則のグローバル化に貢献し、設計的地域格差をなくすことができ、また現在日本の運輸省がカーメーカーと開発を進めているA S V (ASV = Advanced Safety Vehicle) の前方照明システムとA F Sとの統合化をはかるなど、自動車の照明システム分野での国際統合化に貢献することを目指しています。

A F S プロジェクトでは、現在、この新しい照明システム実用化のためのE C E規則案を作成中であり、今秋には国連の規格化検討部門に提案され、審議された後、2004年頃には規格化される見込みであります。

(別紙)

ユーレカ (EUREKA = European Initiative For Research & Development)

ユーレカとは、1985年7月、EU (欧州共同体) とECE (国際連合欧州経済委員会) 加盟国の政府閣僚会議において、共同宣言 (ハノーバー宣言) の形で結ばれた協定で、欧州各国政府・企業・研究機関が共同で進める21世紀に向けた欧州における先端技術分野についての国際共同研究構想であります。

上記の構想に基づいて行われる研究プロジェクトをユーレカプロジェクトと言い、このプロジェクトを通じて、新技術に関するECEドラフトなど、基準、規格の策定が行われています。

国連ジュネーブ協定

国連ジュネーブ協定とは、いわゆる58年協定と呼ばれ、1958年に締結されたECE (国際連合欧州経済委員会) の多国籍間協定。欧州各国を中心に自動車の安全、環境に関するECE規則の制定と相互承認 (他国で与えた認可を相互に認め合う) が目的。日本は保安基準の国際化 (世界統一基準の推進) と、認証制度の国際化 (認証の簡素化と効率化の推進) のため、1998年11月24日、本協定に加盟した。

以上

* 本件に関する問い合わせ先 株式会社 小糸製作所 総務部 広報課 鶴田、桑川
Tel : 03 - 3443 - 7111 Fax : 03 - 3447 - 1520